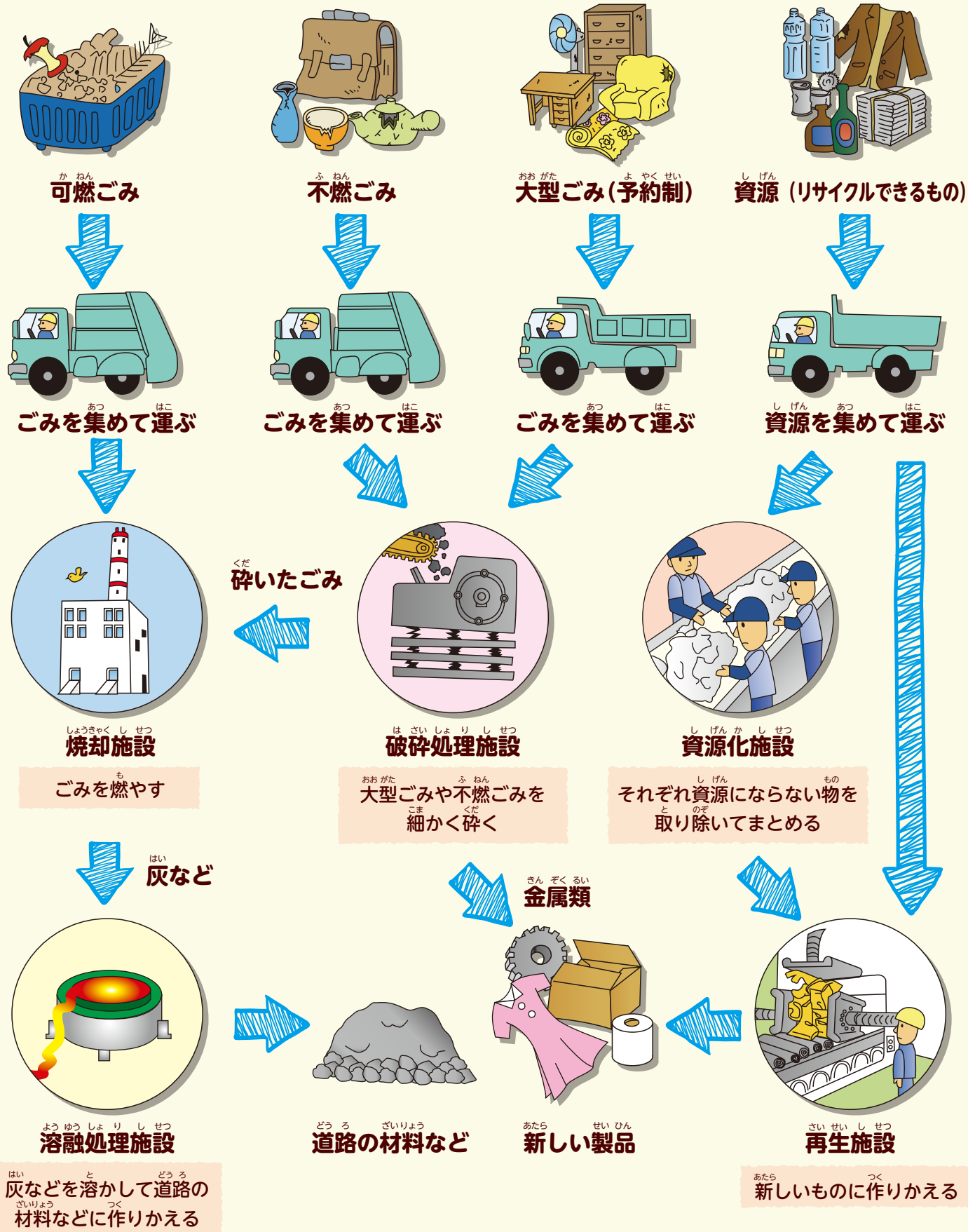


# ごみのゆくえ

私たちの町から出たごみが  
どのように処理されていくか案内しましょう

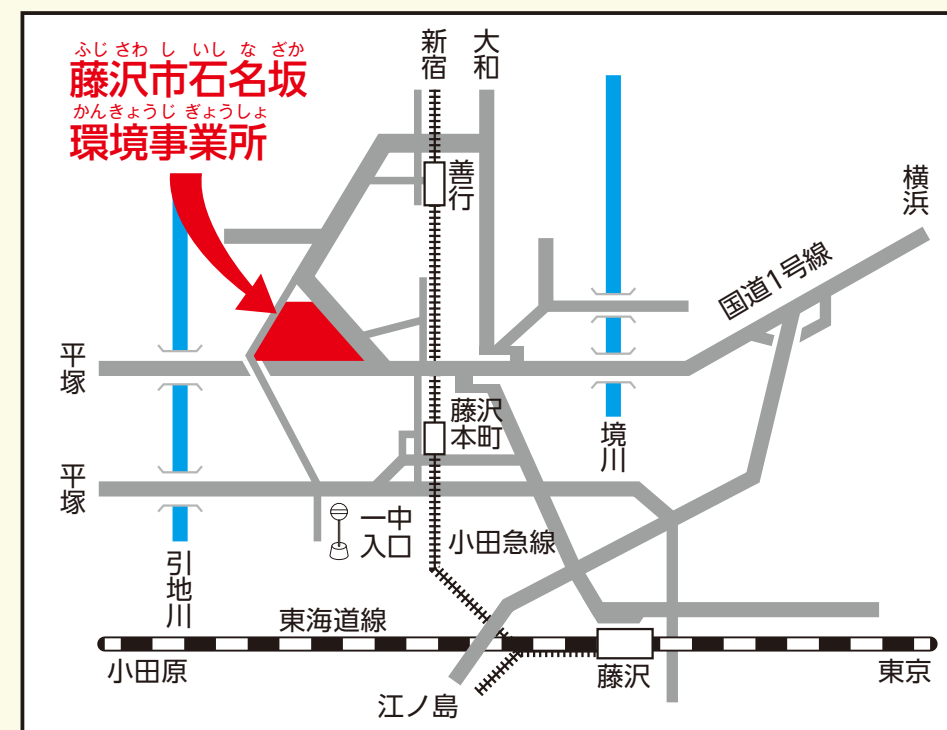


# おねがい



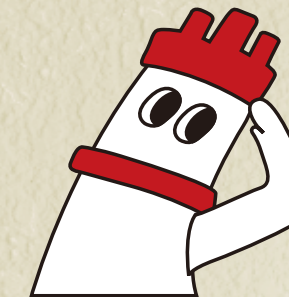
- 石名坂環境事業所に運ばれてくるごみの中には、燃えないごみが入っていることがあります。燃えないごみは機械を止めたり、壊したりする原因となります。燃えないごみは燃えるごみと分けて出してください。
- 一度にたくさんのごみを処理するには、大きな施設が必要です。そして大きな施設を作りごみを燃やすにはたくさんのお金がかかってしまいます。みなさんでごみを減らすよう工夫しましょう。
- ごみをできるだけ出さない社会を目指して3Rに取り組みましょう。  
 リデュース (Reduce) ごみを減らす  
 リユース (Reuse) 繰り返し使う  
 リサイクル (Recycle) ふたたび資源として利用する

## 案内図

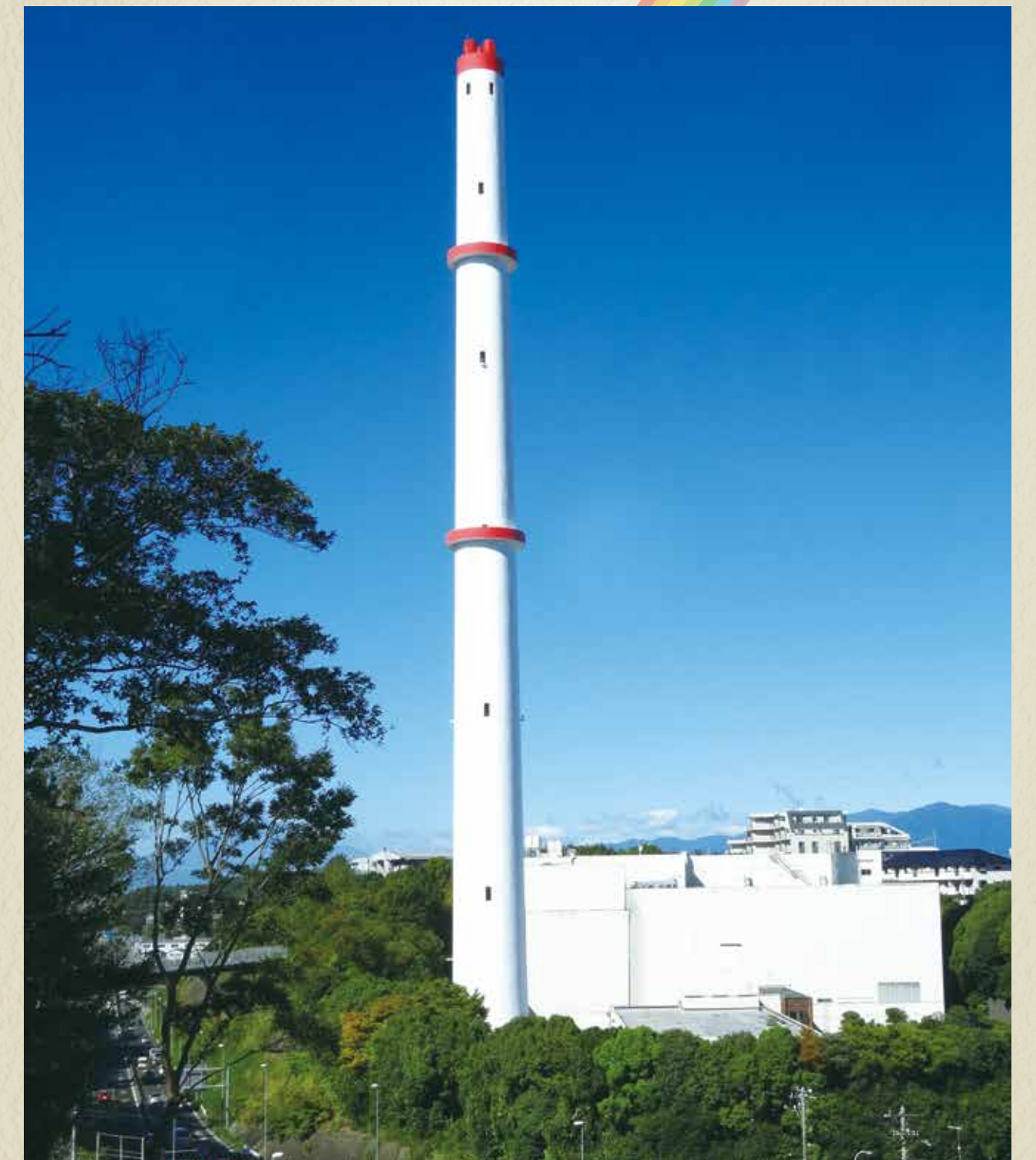


ふじさわし いしなざかかんきょうじぎょうしょ  
**藤沢市石名坂環境事業所**  
 〒251-0875 藤沢市本藤沢二丁目1番1号  
 電話 0466 (81) 6211  
 F A X 0466 (81) 6290

このパンフレットは再生紙を使用しています。



# 石名坂環境事業所



ふじさわし  
**藤沢市**



# 石名坂環境事業所のごみ処理のようす

石名坂環境事業所は、私たちの町から出る燃えるごみを衛生的に処理するために、77億円のお金をかけて昭和59年3月にできた焼却施設です。

- ① 土地の広さ..... 19,410平方メートル
- ② 建物の大きさ..... 13,714平方メートル
- ③ 煙突の高さ..... 120メートル
- ④ 1日に燃やすことができる量..... 260トン

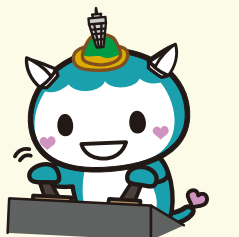
焼却炉が3つあり、2つの炉を運転しています。ひとつの焼却炉で1日に130トン燃やすことができます。操作員が交代で昼も夜もごみを燃やしています。



クレーン操作室



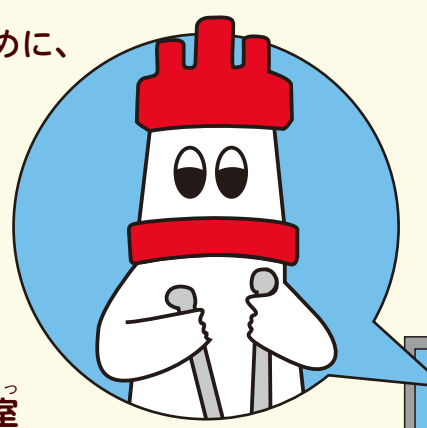
ごみピットとクレーン



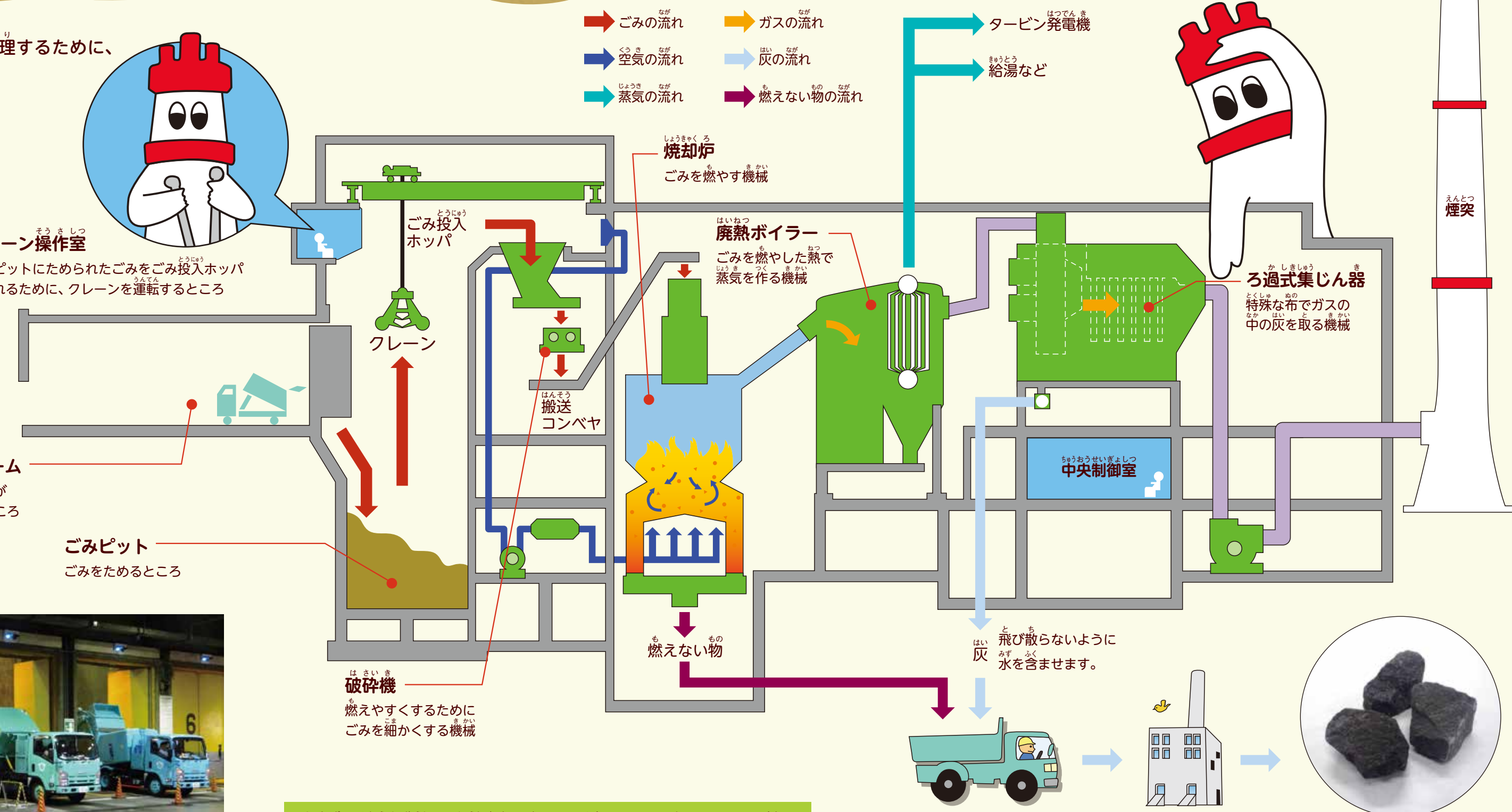
プラットフォーム  
ごみを積んだ車が  
ごみを捨てるところ



プラットフォーム

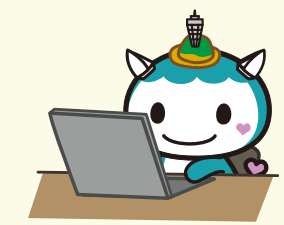


クレーン操作室  
ごみピットにためられたごみをごみ投入ホッパに入れるために、クレーンを運転するところ



石名坂環境事業所の焼却炉の中には約600℃に熱せられた砂が入っていて、この砂でごみを燃やしています。ごみを燃やして発生したガスは、ろ過式集じん器できれいなガスにします。燃えない物や灰は溶融施設で処理し、再利用しています。

廃熱ボイラーで作られた蒸気は発電、給湯などに利用されています。



中央制御室  
石名坂環境事業所の中にあるいろいろな機械を遠隔操作で運転や監視をするところ。



タービン発電機  
廃熱ボイラーで蒸気を作り、蒸気タービンを回して電気を作ります。作った電気は、焼却炉の色々な機械の運転や照明に使用しています。



焼却炉  
熱せられた砂を使ってごみを燃やしています。